

平成28年8月台風による風倒木被害の状況と復旧

渡島総合振興局東部森林室森林整備課 新谷 剛

被害の状況

- ・平成28年8月16日から31日にかけて、4つの台風(7,11,9及び10号)が本道に上陸・接近し、暴風雨により道有林渡島東部管理区に風倒木被害が発生しました。
- ・被害森林はトドマツが過半を占め、被害形態は樹木の倒伏、幹折れ等が多くなっています。
- ・実被害面積:174ha (復旧面積:170ha) ※1
- ・被害箇所:101箇所 (復旧箇所:98箇所) ※1



倒伏が目立つ被害地



幹折れが目立つ被害地

復旧状況

- ・平成29年度より育林事業及び治山事業により風倒被害箇所を復旧しました。
- ・被害木整理については、大型機械を活用し作業の効率化を図っていますが、地拵については急傾斜地が多いため人力による地拵を基本としました。
- ・地拵仕様は、通常では刈幅3.00m、置幅2.00mで行っているところを、刈幅6.00m、置幅4.00mを基本とし、大量に発生する末木・枝条・端材等を4.00mの置幅内に整理出来るよう工夫しました。
- ・植栽は2,200本/ha、樹種はトドマツを基本としました。



平成28年8月の風倒被害(台風)における復旧状況一覧

単位: ha

工種	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		計
		進捗率		進捗率		進捗率		進捗率	
被害木整理	2	-	98	58%	41	82%	29	100%	170
植栽		-	33	19%	90	72%	47	100%	170

※1 急傾斜による復旧困難地で、3箇所(4ha)復旧を中止しています。

今後の展開

今回行った取り組みは、安全に被害処理を行い、かつ末木・枝条・端材等を効率よく整理し植栽できた事例であり、今後もこうした取り組みを参考に、より安全で効率的な風倒災害復旧方法について検討していきたいと考えます。